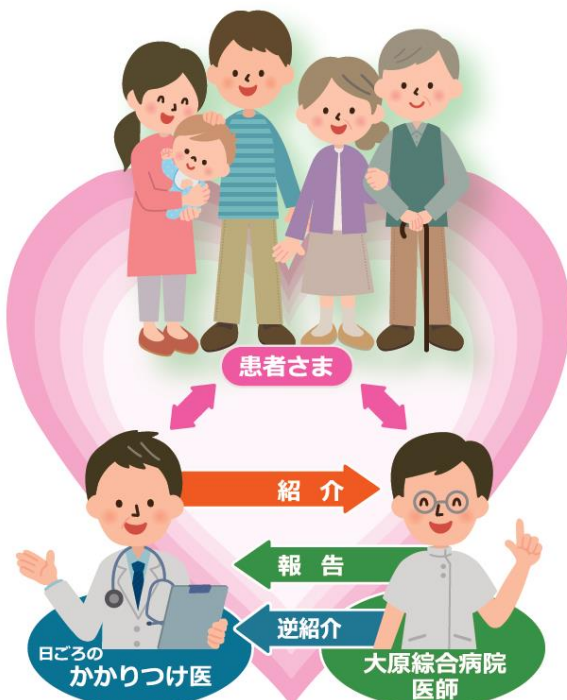


ふたり主治医制(逆紹介)を推進しております

大原総合病院では、「逆紹介推進プロジェクト」を発足し、積極的に逆紹介をご案内できるように、医師・看護師・事務職がプロジェクトメンバーとして、「ふたり主治医制」(逆紹介)のためのプロセスを検討・実施しております。

平成30年12月より一部診療科にて本格的に逆紹介を開始し、長期外来通院患者さま(お薬の処方のみ等、ご登録医療機関で診療が可能な方)について、これまで200名以上に逆紹介のご案内をしており、平成31年4月からは全科で逆紹介を推進して参ります。

ご登録医の先生方におかれましては、引き続きのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



<ふたり主治医制とは>

ご登録医(かかりつけ医)の先生方と当院の医師とが互いに連携しながら、継続的に治療を行うことを目的としております。

日常の健康管理につきましては、かかりつけ医、精密検査・専門的治療が必要な場合や症状が悪化した場合には大原総合病院に「ご紹介」をいただき、治療後に、ご紹介元のかかりつけの先生に「逆紹介」させていただき、継続しての健康管理をお願いする流れを構築しております。

この連携により、不要な検査や投薬を減らすことができ、患者さまの状態に合わせ、適切な治療を提供することに期待ができます。

東北七県電力活用推進委員会委員長賞を受賞しました

平成31年2月14日（木）経済産業省が主催するエネルギー管理優良事業所への表彰式が宮城県仙台市で行われ、大原記念財団は東北七県電力活用推進委員会委員長賞を受賞しました。

この賞は、省エネルギーへの貢献が顕著であった功績者及び優良事業者等を表彰するもので、初めて受賞することができました。

今後も職員への節電への呼びかけやCO2排出削減の取り組みなど、病院全体で省エネに努めてまいります。



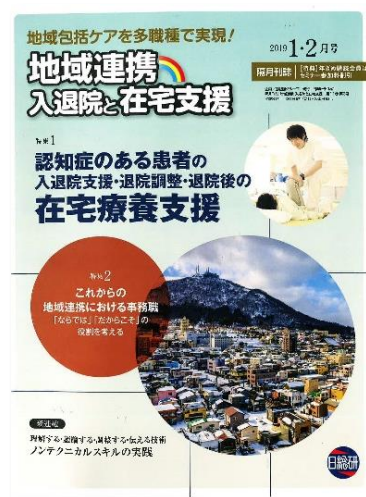
大原総合病院 総合患者支援センター

菅野雅博 地域連携相談室長の執筆文が専門誌に掲載されました

日総研出版が発行する会員制雑誌「地域連携 入退院と在宅支援」2019年1月・2月号特集「これからの地域連携における事務職」にて、大原総合病院・石巻赤十字病院（宮城県）・倉敷中央病院（岡山県）の3病院が取り上げられました。

当院からは、総合患者支援センター 地域連携相談室 菅野雅博 室長が「病院経営を基に考える地域連携と事務職としての役割」と題して執筆し、6ページにわたり掲載されました。

スマートフォンなどからQRコードを読み込みいただけますと掲載誌面へアクセスできますので、ぜひご高覧ください。



大原記念財団の理念

人を愛し、病を究める

私たちは、すべての患者さまとご家族のために常に一步先行く医療を探究し、優しさを持って最善を尽くす医療を実践することにより、地域から信頼される病院を目指します。

制作 大原総合病院 地域連携相談室
発行者 一般財団法人大原記念財団
理事長 平子 健
電話 024(526)0371 ダイヤルイン
FAX 024(526)0935
代表 024(526)0300 内線(1157)
住所 福島市上町6番1号

大原記念財団職員行動規範 10カ条

私たちは、

1. 医療安全を確立し、安心と信頼を獲得します。
2. 命の尊厳を深く理解し、患者さまの権利を尊重します。
3. 優しさを持ち、気づきの医療を実践します。
4. 人間性豊かな医療人となるよう、常に自己研鑽します。
5. 新しいことへの挑戦し、質の高い医療を創造します。
6. 医療人としての誇りを持ち、如何なる時も最善を尽くします。
7. 医療情報の共有と活用を促進し、得られた情報は厳格に管理します。
8. 地域社会に支えられていることを認識し、医療連携を推進します。
9. 相互に敬意を払い、連携を密にして組織的に行動します。
10. 未来への発展のために、健全経営を目指して努力します。